

第85回役員会 議事要録

日 時：平成28年10月26日(水)10：00～11：00
会 場：大学本館 E-703会議室
出席者：石原理事長、近藤副理事長、片山理事、梶原理事、松尾理事、吉永理事
(オブザーバー) 中野(昌)監事、中野(利)監事

報 告

- 1 学長選考の結果について
- 2 学長業績評価の結果について
- 3 教員の採用について
- 4 プロパー職員の採用試験の結果について
- 5 平成29年度AO入試について
- 6 インターネット出願の導入について

報告1 学長選考の結果について

<質疑応答>なし

報告2 学長業績評価の結果について

<質疑応答>

- 評価の手間がかかる割には大学の評価と重複している部分が多い。大学の評価は学長が代表として受けているため、今後は違った形で進める必要があるのではないか。
- もう少し簡略化した形でいいのではないか。評価に係る資料が膨大で事務局の負担が大きい。評価をする際に、あれだけの資料は必要無いように感じる。
- 次回の評価から改善していきたい。
- 大学の評価と学長の評価は、大部分が重なるのが当然である。
- すでに大学で評価されている項目は、当該評価に換えて、それ以外の部分で評価すると良い。
- 参考にする。

報告3 教員の採用について

<質疑応答>なし

報告4 プロパー職員の採用試験の結果について

<質疑応答>

- 倍率は例年通りか。
- 今年度は採用状況が活発化したので、申込者数が減少しており、倍率としては少し下がっている。
- 受験者は新卒者が多いか。
- 新卒者も一定数いるが、大学勤務経験者も受験可なので、新卒者以外も一定数いる。
- 公務員希望者が公務員になれないためにこちらを受験するのか。
- そういう受験生も多いし、公務員試験との併願もいる。
- 公務員に準ずる機関はどこも受験者が多い。地元志向が強い。

報告5 平成29年度AO入試について

<質疑応答>

- 地域創生学群の定員は増えたのか。
- 学群の増加は、入学定員の増によるものである。AO入試で15人、推薦入試で15人である。

報告6 インターネット出願の導入について

<質疑応答>

- 導入は他大学に比べ早いか、遅いか。

- 九州の国公立大学では、平成29年度入試から既に3大学で導入しているため、本学は4番目以降の導入となる。
- 導入効果が少ないのではないか。
- インターネット出願は大規模の私立大学で始まっており、10万人以上受験生がいる大学も有り、そのような大学では効果が高い。
- 本学の受験生はどのくらいか。
- 本学の受験生は5,000人から6,000人程度である。
- サーバーは学内に設置するか。
- 学外のサーバーを利用する。
- 大学よりも受験生の方が導入のメリットが高いのではないか。
- 私立大学は併願ができるため、メリットが大きい。併願する場合は、受験料が安くなり、志願者数を増やしている。
- ネット出願をやることそのものに、アナウンスメント効果があるだろう。
- 本人の書類記入漏れによる確認作業が減少するメリットもある。